**第117回日本消化器病学会九州支部例会**

**特別企画　「消化器病学に携わる女性医師の環境　～本音を語ろう　いいこと、わるいこと、のぞむこと～」**

**演題応募テンプレート**

「消化器病学に携わる女性医師の環境　～本音を語ろう　いいこと、わるいこと、のぞむこと～」への演題申込をご希望の方は、本フォームに必要事項を記入し運営事務局（[g117-e111-p@jtbcom.co.jp](mailto:g117-e111-p@jtbcom.co.jp))までお送りください。

**\*マーク**の箇所は必須事項です。

**筆頭著者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓）**\*** |  | （名）**\*** |  |
| ふりがな（姓）**\*** |  | （名）**\*** |  |
| 会員番号**\*** | |  | | |
| (例)123456、申請中のときは99 | | |
| 電子メールアドレス**\*** | |  | | |
| 所属機関番号**\*** | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

**筆頭著者の所属機関名**

|  |  |
| --- | --- |
| 1.所属機関名**\*** |  |
| 例)勇民大学　医学部　医療情報学科　のように途中に全角1マスを入れてください |

**筆頭著者の所属機関住所**

|  |  |
| --- | --- |
| 郵便番号**\*** |  |
| 住所**\*** |  |
| 電話番号**\*** |  |
| FAX番号**\*** |  |

著者の所属機関が複数にまたがるときは以下の所属機関名記入欄に記入し、著者記入欄のチェックボックスをチェックしてください。

[2.所属機関名] から [10.所属機関名] の記入方法は [1.所属機関名] と同じです。

共著者の氏名の記入の仕方も、筆頭著者の記入欄と同じです。

|  |  |
| --- | --- |
| 2. 所属機関名 |  |
| 3. 所属機関名 |  |
| 4. 所属機関名 |  |
| 5. 所属機関名 |  |
| 6. 所属機関名 |  |
| 7. 所属機関名 |  |
| 8. 所属機関名 |  |
| 9. 所属機関名 |  |
| 10. 所属機関名 |  |

※共著者の登録可能数は最大19名です。

共著者1

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者2

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者3

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者4

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者5

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者6

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者7

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者8

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者9

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者10

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者11

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者12

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者13

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者14

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者15

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者16

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者17

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者18

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

共著者19

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 日本語（姓） |  | （名） |  |
| ふりがな（姓） |  | （名） |  |
| 会員番号 | |  | | |
| 所属機関番号 | | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |

**演題のカテゴリー\***

**カテゴリー１（右のプルダウンより選択したください）\*：**アイテムを選択してください。

**カテゴリー２（右のプルダウンより選択したください）\*：**アイテムを選択してください。

**演題名\***

|  |
| --- |
|  |

※制限文字数は演題名、抄録本文の合計で全角896文字になります。この字数を超えると登録できません。

**抄録本文\***

**キーワード\***

|  |  |
| --- | --- |
| キーワード1 |  |
| キーワード2 |  |

**診断名**

|  |  |
| --- | --- |
| 診断名1 |  |
| 診断名2 |  |
| 診断名3 |  |

**症状**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要症状 |  |
| 特徴ある症状 |  |

**徴候**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要徴候 |  |
| 特徴ある徴候 |  |

次ページより研究内容に関する倫理審査、利益相反に関する設問が続きます（必須回答）

倫理指針等:

文部科学省、厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」ならびに「臨床研究法」をはじめとする、臨床研究に関連する規制に基づき、研究実施に関する倫理審査委員会等の審査状況について確認を行います。発表内容について、設問1～2で該当する項目をそれぞれひとつご選択ください。

* 日本消化器病学会の演題応募に際しては、倫理審査が必要な発表は、必ず所属施設又は関連の大学病院・医師会等の倫理審査制度を利用し承認を得たうえで演題登録を行ってください。
* 本チェックリストは応募者に臨床研究を行う上で、順守すべき倫理指針を再認識していただくことを目的としています。選択された内容について、査読委員から異議があった演題は、例会事務局で検証を行い、倫理的に問題があると判定された場合は、不採用となりますのでご注意ください。
* 発表内容がどの項目に該当するかについては、[フローチャート、Q&A、日本消化器病学会倫理指針](https://www.jsge.or.jp/member/rinri/)をご確認下さい。
* 倫理審査の不要な研究（カテゴリーA)については[こちらの具体例](https://www.jsge.or.jp/member/rinri/)をご確認下さい。カテゴリーAの研究以外は、全て倫理審査が必要となります。

**設問1\***

研究内容について(A～Eのいずれかひとつの項目にチェック)

A　:以下に当てはまる研究(当てはまる場合はいずれかにチェック:複数回答可)。

9例以下をまとめた研究性のない症例報告。

傷病の成因・病態の理解、傷病の予防・診断・治療方法の改善、有効性・安全

性の検証を通じて、人の健康の保持増進または傷病からの回復・生活の質の向上

に資する知識を得ることを目的としない報告等※

※（例）：①単に治療方法の紹介、教育・トレーニング方法の紹介、②施設の医療体制や受診率向上の取り組みに関する紹介

論文や公開されているデータベース、ガイドラインのみを用いた研究。

既に学術的な価値が定まり、研究用として広く利用され、かつ、一般に入手可能

な試料・情報を用いた研究。

既に匿名化されている試料・情報(特定の個人を識別できない状態に加工され、自他問わず対応表がどこにも存在しないもの)を用いた研究。但し、体細胞由来のゲノムデータ解析は除く。

既に作成されている匿名加工情報又は非識別加工情報を用いた研究。

法令に基づく研究（臨床研究法、再生医療等安全性確保法は除く）。

人体から分離した細菌、カビ、ウイルス等の微生物の分析等を行うのみで、人の健康に関する事象を研究の対象としない研究。

動物実験や一般に入手可能な細胞（iPS 細胞、組織幹細胞を含む）を用いた基礎的研究。

海外で実施された研究（研究対象となった試料・情報が日本のものは除く）。但し、実施した国の規定は遵守していることが必要。

B1: **・**既存の試料・情報を用いる観察研究。

通常診療の情報や診療で採取された生体試料の余剰分を用いるもの等、通常の診療行為(判断)に何ら影響を与えることが無ければ、前向き後ろ向きを問わない。

**・**研究目的で新たに情報のみを取得する観察研究であって、侵襲を伴わない研究。

心電図、体表US検査、心的侵襲のないアンケートを実施するものが含まれる。

B2: 以下に当てはまる研究。

・研究目的で新たに情報を取得する際に侵襲又は軽微な侵襲を伴う観察研究。

通常の診療行為(判断)に何ら影響を与えないが、研究目的にX線撮影、CT等を

実施する研究が含まれる。

・研究目的で新たに情報に加えて試料を取得する観察研究。

通常の診療行為(判断)に何ら影響を与えないが、研究目的にCT、採血(通常診療に加えて量を追加する場合も含む)、組織採取等を追加する侵襲あるいは軽微な侵襲を伴うものと、排泄物の採取など侵襲を伴わないものがある。

C : 「臨床研究法」の適用されない介入研究。

体外診断薬を用いた介入研究、医療手技や手術方法の評価を行う研究が含まれる。

D1: 特定臨床研究以外の臨床研究(「臨床研究法」の遵守努力義務の対象となる研究)。

既承認の医薬品・医療機器等を用いてそれらの有効性・安全性を評価する介入研究で、関連する企業から資金提供が無い研究が該当する。

D2:　特定臨床研究(「臨床研究法」の遵守義務の対象となる研究)。

未承認・適応外の医薬品・医療機器等を用いる研究、又は企業から資金提供を受

ける介入研究が該当する。

○ E : 以下に当てはまる研究。

・再生医療等安全性確保法に該当する研究。

・ヒトの遺伝子治療に関する研究。

**設問2\***

**設問１でB1、B2、C、D1、D2、Eにチェックをされた研究は、各研究が適用される規制に基づく委員会の審査が必要となります。**

☐ 必要な審査を受け、承認を得ている。

※審査を受けていない場合は応募できませんので、各研究に必要な審査については以下のサイトをご確認ください。

[日本消化器病学会 倫理指針](http://jsge.or.jp/member/rinri/)

[日本消化器病学会における倫理指針(カテゴリー分類)](http://jsge.or.jp/member/rinri/)

[倫理指針から見た研究の種類と必要な手続き](http://jsge.or.jp/member/rinri/)

[よくあるご質問(Q&A)](http://jsge.or.jp/member/rinri/)

※上記の倫理に関する内容は、今後国の法律・法令・指針変更に伴い改定を行う可能性があります

(2020年9月現在)。

※本指針は、日本腹部救急医学会作成の倫理指針を元に作成しています。

|  |  |
| --- | --- |
| **利益相反の有無**\* | 有　　　無 |

利益相反(conflict of interest:COI)とは、本学会が推進する医学医療の研究によって社会に還元される公的利益と産学連携等により生じる私的利益があり、このような二つの利益が学会員個人の中に生じる状態を指します。

本学会では、「医学系研究の利益相反に関する指針および細則」を完全実施しております。

つきましては、各支部例会に演題をご登録される先生方に対しても、指針および細則を遵守して頂きますようお願い申し上げます。

今回、演題をご登録いただくにあたり、その演題の内容に関連して利益相反が生じる場合には、下記のCOI申告フォームにご入力いただき、ご申告頂きますようお願い申し上げます。

**(「有」を選択した場合のみ下表にご入力ください。)**

※抄録登録時から遡って**過去3年間**以内のCOI状態を申告してください。なお、COI申告 は演題発表後2年間保管されます。

[「医学系研究の利益相反に関する指針および細則」](https://www.jsge.or.jp/member/riekisouhan)

※(本人)・・・共同演者を含む全ての演者

(親族)・・・配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **該当の状況\*\*** | | **有の場合、企業・団体名の記載\*\*** |
| １．企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬額  (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| (親族) | 有  無 |  |
| 2. 株の保有と、その株式から得られる利益  (1つの企業からの1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5％以上保有のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| (親族) | 有  無 |  |
| 3. 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬  (1つにつき年間100万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| (親族) | 有  無 |  |
| 4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表・助言など)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など  (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| 5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料  (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| ６. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費  (1つの企業・団体から医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上のものを記載 | (本人) | 有  無 |  |
| 7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄附金  (1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |
| 8. 企業等が提供する寄附講座  (企業等からの寄附講座に所属している場合に記載(実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載)) | (本人) | 有  無 |  |
| 9. 研究、教育、診療とは無関係な旅行、贈答品など  (1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載) | (本人) | 有  無 |  |